

事務事業実績測定調査

事務事業名称														し尿収集業務													
測定年度				2021(R3)年度				部		環境部				課		希釈放流センター											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																							
		施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		不明				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方自治法、同法施行令、同法施行規則、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例及び同施行規則																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者																							
		サブターゲット		一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者の近隣に在住する市民・事業者																							
		ターゲットが抱える課題		一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごせるよう収集・運搬業務を迅速かつ的確に行う必要がある。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。																									
事業概要		定期収集は、おおむね21日を周期として行い、臨時汲み取りは、電話受付後、随時収集を実施している。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。				収集したし尿を適切に運搬する。				対象世帯に対し、し尿収集を実施する。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		指標説明		し尿収集の要望に対する執行率 【収集量/収集要望量×100】		年間収集量		し尿収集対象世帯数																			
		指標種類		増加することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標																			
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5																			
		達成度		100%		106%		107%																			
		分析		全てのし尿収集の要望に対して執行できた。		ほぼ想定通りであった		ほぼ想定通りであった																			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	8.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	69,673	63,898	60,683		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	412	459	377		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	70,085	64,357	61,060		
	物件費計	2,123	1,659	1,675	2,045	87%
	歳出計	72,208	66,016	62,735		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,931	0	0	0	
	歳入計	2,931	0	0	0	
	一般財源	69,277	1,659	1,675	2,045	

5. 総括的分析

総括的分析	収集業務は、21日周期を原則とした定期収集(普通・大口手数料)を収集車2台、その都度収集する臨時収集(臨時手数料)を収集車1台で実施した。公共下水道地区整備に伴い、し尿収集対象世帯は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区の変更や整理を随時行った。し尿収集状況については、普通汲取件数8,408件、汲取量1201.27kl、大口汲取件数556件、汲取量167.20kl、臨時汲取件数306件、汲取量65.10klで、合計汲取量は1433.57klであった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	21日周期を原則とした定期収集(普通・大口手数料)を収集車2台、その都度収集する臨時収集(臨時手数料)を収集車1台で実施する。また、公共下水道整備の進捗と点在する収集世帯の状況を踏まえ、収集車両台数、収集員の適正配置及び収集経路の見直しを図りながら引き続き、効果的な収集を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称															
し尿処理業務															
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部				課	希釈放流センター					
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3	R4								
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標			26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業					
事業期間	不明			年度	~				年度まで						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法														
関係補助金名称	サンセット														
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」													
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びディスポーザを設置しており利用している者													
	ターゲットが抱える課題	し尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入できるようにする必要がある。													
	ターゲットが抱える課題	し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られるようにする必要がある。													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、そして、し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている状態。														
事業概要	<p>市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っている。</p> <p>希釈放流方式</p> <p>計画処理量 約60kl/日 放流量 1,140m³/日</p>														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている。				アウトプット (活動結果)	希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理する。				インプット (活動)	搬入されたし尿・浄化槽汚泥等に対し、希釈放流方式にて処理する。			
	指標説明	し尿及び浄化槽汚泥等に対する処理完了率【処理量/搬入量×100】				年間放流量				年間搬入量					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	100	100	100	100	282,568	221,464	207,024	193,876	14,872	11,656	10,896	10,204		
	実績	100	100			286,534	259,128			13,424	12,441				
	達成度	100%				83%				93%					
分析	全ての搬入に対し処理を行った。				想定より少し多かった。				ほぼ想定通りであった						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	7.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,303	44,718	50,983		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	459	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	28,303	45,177	50,983		
	物件費計	159,463	155,682	140,506	158,747	89%
	歳出計	187,766	200,859	191,489		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,887	0	0	0	
	歳入計	6,887	0	0	0	
	一般財源	180,879	155,682	140,506	158,747	

5. 総括的分析

総括的分析	希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理した。 希釈放流センター受入状況については、受入日数249日、家庭系し尿受入量1433.57kl、事業系し尿受入量716.99kl、浄化槽汚泥受入量10282.50kl、ディスポーザー汚泥受入量7.56klであった。また、希釈水量247,292.00m ³ 、放流水量259,128.00m ³ であり、希釈放流水質については、放流基準を順守した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	希釈放流センター施設維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部		課	希釈放流センター	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち						
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち						
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務				
事業期間	不明			年度	~	年度まで			
根拠法令等	建築物衛生法、労働安全衛生法、水道法								
関係補助金名称					サンセット				
関係附属機関名称									

事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」							
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びビディスポーザを設置しており利用している者							
	ターゲットが抱える課題	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行い、施設の維持管理を実施する必要がある。							
	ターゲットが抱える課題								

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行えて、施設の維持管理ができている状態。								
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	○施設の概要 希釈放流センター (所在地:出口2丁目30番1号・開設年月日:平成5年9月30日・敷地面積:33,175.77㎡ 延床面積:5,498.94㎡・建物構造:鉄筋コンクリート造2階建外) 緩衝緑地帯(敷地面積:744.37㎡)								
	○委託業務(清掃委託・受水槽・警備委託・害虫駆除委託・空気環境測定委託・淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託) ○事業内容 警備委託(機械警備)による休日・夜間の管理。 清掃委託等による建物の維持管理及び淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託による施設内の美観の維持。								

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					淀川衛生事業所が適正に維持管理されている。				淀川衛生事業所の施設保全や保守点検等を行う。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				契約種別数					
	指標種類				単位				単位					
					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	6	6	6	6
実績						60	62			6	4			
達成度				138%				67%						
分析				予算内で適切に執行できた				想定より少なくなった						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	21,706	14,648	11,756		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	21,706	14,648	11,756		
	物件費計	6,402	6,262	6,041	9,702	62%
	歳出計	28,108	20,910	17,797		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	28,108	6,262	6,041	9,702	

5. 総括的分析

総括的分析 決算額については、除草樹木剪定等委託料 808,500円、清掃委託料 2,383,200円、警備委託料 2,376,000円、空気環境測定等委託料 203,500円、消耗品費 255,613円、手数料 0円、使用料(NHK受信料)14,205円、安全管理者講習負担金 0円となっており、適切に施設の維持管理を行った。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	市域から発生するし尿・浄化槽汚泥を滞りなく搬入できるよう施設の維持管理を適切に行っていく。空気環境測定、害虫駆除、貯水槽清掃委託については、それぞれの委託項目ごとに契約を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	希釈放流センター老朽化対策事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名		上水道及び生活排水の適正処理の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业		区分	非選択的業務事業	
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	~	R6年度(2024年度)		年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法						
関係補助金名称						サンセット	-
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」									
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びビディスポーザを設置しており利用している者									
	ターゲットが抱える課題	老朽化対策工事を実施している間についても、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行う必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	複数年に渡る老朽化対策工事を実施することにより、今後も安定した処理を行うことができる。									
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>現希釈放流センターについては、平成28年度から平成29年度にかけて、市立淀川衛生工場改造工事を実施し、工事完了後となる平成29年12月18日から希釈放流を開始した。改造工事の内容については、主に下水道へ放流する設備の設置や槽内の防食・防水補修及び電気設備の改造であり、平成5年に市立淀川衛生工場が稼働を開始した時から使用している脱臭設備や前処理設備は既存のままである。</p> <p>今回の希釈放流センター老朽化対策工事では、主に既存のまま使用している設備の更新を目的とした内容であり、予算の平準化に努め、令和3年度から令和6年度までの4ヶ年で実施するものである。</p> <p>【令和3年度から令和6年度までの総事業費】 231,027千円(消費税込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 3,100千円(消費税込み) 令和4年度 84,913千円(消費税込み) 令和5年度 45,072千円(消費税込み) 令和6年度 97,942千円(消費税込み) 									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					老朽化対策工事に係る実施設計委託・工事の進捗度				老朽化対策工事に係る実施設計委託・工事を実施する					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				総事業費に対する進捗率【算出式: 執行済額 / 総事業費 × 100】				各年度ごとに予定している委託・工事の実施率【算出式: 執行済額 / 契約金額 × 100】					
	単位				単位				単位					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度						79%				100%			
分析						ほぼ想定通りであった				設計委託費について執行した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.96
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	7,543		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	7,543		
	物件費計	—	—	2,465	3,100	80%
	歳出計	—	—	10,008		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	2,465	3,100	

5. 総括的分析

総括的分析 希釈放流センターの、主に既存のまま使用している設備について、予算の平準化に努め、令和3年度から令和6年度までの4ヶ年で更新を行う。
 【令和6年度までの総事業費】 231,027千円(消費税込み) ・令和3年度 3,100千円(消費税込み) ・令和4年度 84,913千円(消費税込み) ・令和5年度 45,072千円(消費税込み) ・令和6年度 97,942千円(消費税込み)。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	希釈放流センターの、主に既存のまま使用している設備について、予算の平準化に努め、令和3年度から令和6年度までの4ヶ年で更新を行う。 【令和6年度までの総事業費】 231,027千円(消費税込み) ・令和3年度 3,100千円(消費税込み) ・令和4年度 84,913千円(消費税込み) ・令和5年度 45,072千円(消費税込み) ・令和6年度 97,942千円(消費税込み)。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公衆便所管理事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部				課	希釈放流センター			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		内部事務		区分		一般内部管理事務				
事業期間	2010(H22)年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市公衆便所条例												
関係補助金名称									サンセット				
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット		公衆便所を利用する者									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		公衆便所を利用する者が、快適に利用できるよう必要な維持管理を実施する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆便所を利用する者が、快適に利用できている状態。											
---------------------------	---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西口公衆便所(枚方市桜町2番23号) 開設 昭和28年3月、敷地面積 23.14㎡、延床面積 16.00㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 洋式 1、小便器 1) (女子 洋式 1) ・枚方公園駅前公衆便所(枚方市伊加賀北町5番11号) 開設 昭和34年7月、敷地面積 51.06㎡、延床面積 20.80㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 和式 1、小便器 2) (女子 和式 2) (身障者用 和式 1) 											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						公衆便所が適切に維持管理されている。				公衆便所の施設・設備の清掃等、各種施設保全、保守点検等を行う。			
指標説明						修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				施設・設備の点検及び清掃回数			
指標設定	指標種類	単位				単位				単位			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値					100以内	100以内	100以内	100以内	365	365	365	366
達成度					105%				100%				
分析						予算内で適切に執行できた。				想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	292	1,196	1,100		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	292	1,196	1,100		
	物件費計	1,804	1,610	1,912	2,020	95%
	歳出計	2,096	2,806	3,012		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,096	1,610	1,912	2,020	

5. 総括的分析

総括的分析	決算額について、公衆便所清掃委託料 1,650,000円、光熱水費 261,502円、修繕料 0円、原材料費 0円、消耗品費 0円であった。清掃業務委託で対応できない修繕等については、職員での対応を行い適切な維持管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	公衆便所のあり方について検討してく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	希釈放流センター運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務		
事業期間	R4年度(2022年度)			年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		希釈放流センター職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。										
事業概要	課の運営事務										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	11,786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	11,786		
	物件費計	—	—	2,122	3,161	68%
	歳出計	—	—	13,908		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	160	165	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	31	30	
		歳入計	—	—	191	195
	一般財源	—	—	1,931	2,966	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度の機構改革により、希釈放流センター単独で運營業務を行うこととなった。適切で効率的な運営ができるよう努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和4年度の機構改革により、希釈放流センター単独で運營業務を行うこととなった。適切で効率的な運営ができるよう努める。